

新関 剛史 (にいぜき たけし)  
2011 年度 GCOE フェロー  
連絡先: ed091003@g.hit-u.ac.jp

専攻分野: マクロ経済学  
研究テーマ: 経済成長、景気循環及び消費に関する研究  
博士学位請求論文題目 (予定): 経済成長、景気循環及び消費に関する研究

#### 学歴

2004 年 3 月 福島大学経済学部卒業  
2005 年 12 月 Middle Tennessee State University (米国) 経済学研究科修士課程修了、経済学修士  
2009 年 3 月 一橋大学院経済学研究科修士課程 (経済理論・経済統計専攻) 修了、経済学修士  
2009 年 4 月 一橋大学経済学研究科博士後期課程入学  
2011 年 6 月現在 同課程在学中

#### 職歴

2005 年 9 月～2006 年 12 月 Middle Tennessee State University (米国) 経済学研究科 GA  
2008 年 4 月～2008 年 7 月 一橋大学院経済学研究科 TA (中級マクロ経済学担当)  
2008 年 10 月～2009 年 2 月 一橋大学院経済学研究科 TA (基礎マクロ経済学担当)  
2009 年 4 月～2009 年 7 月 一橋大学院経済学研究科 TA (中級マクロ経済学担当)  
2009 年 6 月～2010 年 3 月 一橋大学グローバル COE「社会科学の高度統計実証分析拠点構築」COE リサーチアシスタント  
2009 年 9 月～2010 年 3 月 平成 21 年度若手研究 (S)「日次マーケティングデータに基づく家計消費・労働供給の分析」阿部修人准教授 RA  
2010 年 4 月～2010 年 7 月 一橋大学院経済学研究科 TA (上級マクロ経済学担当)

#### 研究業績

- 新関剛史 (2008)「将来の TFP 成長率と 1990 年代以降における日本の景気変動」修士論文.[査読無し]
- 阿部修人・新関剛史 (2010)「Homescan による家計消費データの特徴」『経済研究』第 61 巻, 第 3 号, pp.224-236.[査読有り]

#### 学会報告

- 「Energy-Saving Technological Changes in Japan」2011 年度日本経済学会春季大会, 2011 年 5 月 21 日, 於熊本学園大学, 事前査読有.

#### その他特記事項

- 2005 年 9 月～2006 年 12 月 Middle Tennessee State University, Graduate Assistantship

#### 照会先

- 阿部修人 (一橋大学経済学研究所准教授)、塩路悦朗 (一橋大学経済学研究科教授)